



～文化財と遺跡を歩く～ 京都歴史散策マップ



発行 京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所



京都市考古資料館

大正3年に本野精吾の設計で建てられた旧西陣織物館を内部改修し、京都市内の発掘調査・研究の業績を発表・展示するため昭和54年11月に設立されました。特別展と常設展で構成され、約1000点の遺物が展示されています。遺物展示のほかにも、映像やパソコンで旧石器時代から近世にかけての京都の歴史を学ぶことができます。建物は、昭和59年に京都市有形文化財に登録されています。

〒602-8435
京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1

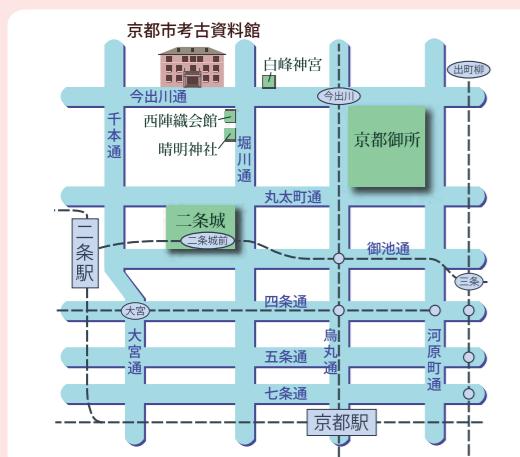
TEL. 075-432-3245 FAX. 075-431-3307

<http://www.kyoto-arc.or.jp/museum/>

入館無料・月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日)

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

JR京都駅より地下鉄烏丸線 今出川駅下車徒歩15分
市バス 201・203・59系統 今出川大宮下車すぐ



伏見桃山地区の発掘調査

この地区は、伏見城とその城下町が大半を占め、大名屋敷に由来する数多くの町名が残されています。伏見城の城下町は、西側の丘陵斜面が大名屋敷街、その西側の緩傾斜地が商工業地域の町家街となっています。発掘調査もその大半が伏見城関係になり、大名屋敷街での武家屋敷の石垣や屋敷の建物跡、門跡、町家街での町家跡やそれに伴う道路跡などの遺構、金箔瓦や茶陶類など、当時を偲ばせる遺物も数多く出土しています。

その他、伏見区役所建て替えの発掘調査では墓地を発見しています。また、桃陵中学校校内の発掘調査では弥生時代中期の方形周溝墓、奈良時代の柱穴・土坑、平安時代の池・土坑等を発見しています。



① 桃山町永井久太郎

発掘調査により、伊達街道の交差点から東へ延びる、上板橋通りの路面・側溝・犬行・石垣を見つけています。側溝の石組みの中には石仏も使われており、手短な石材を利用したことが伺えます。



⑩ 桃山町松平筑前

御香宮の東側にあたる場所のマンション建設に伴う発掘調査で、武家屋敷の建物を見つけています。この屋敷より新しい時期には、明確な遺構をみつけることができました。この大穴にはスロープがあり、壁土などの土を探取した穴と考えられ、土を探取した後にゴミを捨てて埋めたものです。



⑨ 桃山町森出雲

御香宮の西側にあたる宅地造成に伴う発掘調査で、武家屋敷の門跡を見つけています。周囲に花崗岩の敷石を並べ、礎石を配しています。門跡は焼け瓦を含む焼土層に覆われており、火災により燃え落ちたことを物語っています。門の規模は、御香宮の神門とほぼ同じでした。



⑪ 桃山筑前台町

住宅建設工事に伴う調査で、大量の瓦類と石垣を見つけています。特に瓦類には金箔を施したものが多く含まれていて、また鬼瓦や飾り瓦も普通のものよりも大型でした。石垣は南北方向で、絵図からみると、前田利家邸と松平八右衛門邸の南北境界付近にあたりそうです。



② 桃山町永井久太郎

発掘調査により、伊達街道の路面・側溝・犬行・石垣を見つけています。ここでは、少なくとも2回の火災を受けたようで、火災後の整地層から焼土や炭とともに、焼けて黒くなった炊米が整理箱1箱分みつかりました。中にはおにぎり状のものもありました。



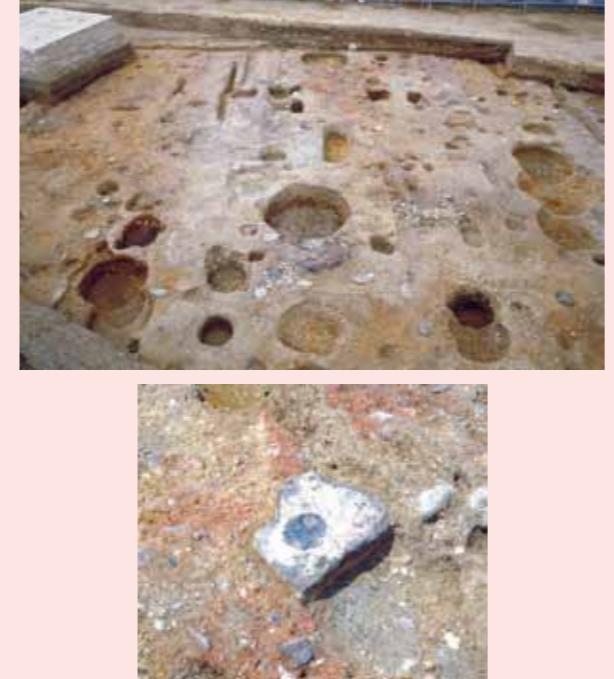
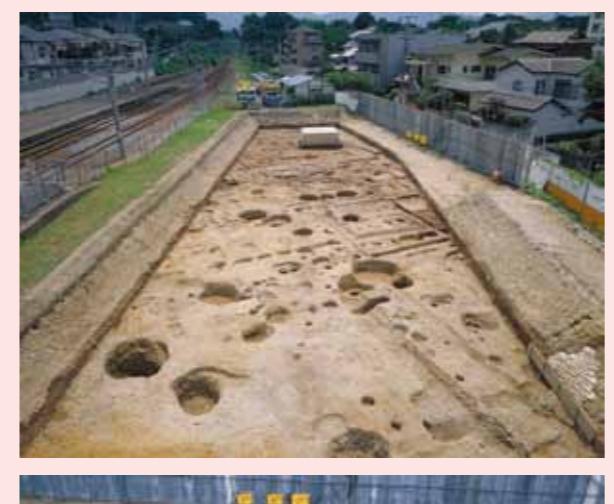
③ 福島太夫西町

発掘調査により、大和街道の東側溝の石組溝と、それに沿った門跡・石垣基礎跡を見つけています。武家屋敷のものと思われます。石垣の一部は桃山東小学校に移築保存され、市の史跡に登録されています。



⑫ 桃山町立売通

JR桃山駅南のデイサービスセンターの建設に伴う発掘調査で、立売通の路面・北側溝と通りに面した町家跡がみつかりました。路面は数回にわたって修復されており、轍(わだち)とみられる窪みもありました。また、町家の奥ゆきが約30m(15間)であることが確認できました。



④ 京町

京都市営竹文化センターの建設に伴う発掘調査で、京町通りの路面をみつけています。路面は粘質の土で整地した上に、小さな砾を敷き詰めて造られた砾敷きの舗装道路でした。その西側に、幅が約1.4mの素掘りの側溝がありました。

通りに面した町家跡からは、水琴窟(底に穴を開けた壺を埋め、水の落ちる音を楽しむ装置)が出土しています。

⑤ 桃山紅雪町

区画整理地の造成工事中に発見され、緊急に調査を行いました。城の東側に位置する、武家屋敷のものと思われます。



⑥ 桃山毛利長門西町

マンション建設に先立つて調査を行い、上下2時期の石垣とそれに伴う犬行・側溝がみつかりました。これらは大和街道の東側溝(石組)と、毛利下屋敷の西辺に築かれた石垣と推定されます。



⑭ 桃山町伊賀

大名屋敷の一画にあたります。京都橘中学校・高等学校の新築工事に伴う発掘調査では、2時期の遺構を確認し、古い方は壇状のものがあり、そこから金箔瓦や巨大な鬼瓦・鬼板が出土したこと、付近に重要な建物があった可能性があります。新しい時期のものは壇が縮小され、建物が造られています。



⑮ 桃陵町

山口駿河守屋敷地に推定される桃陵中学校の体育馆建設に伴う発掘調査で、数多くの金箔瓦がみつかりました。他地域でみつかった金箔瓦よりも金箔の残りが良好なものでした。また、ここからは弥生時代中期の方形周溝墓もみつっています。



⑦ 鷹匠町

伏見区役所建て替え工事に伴う発掘調査で、伏見城の城下町の造営により、街区・街路が整備された時期および伏見城廃城後、市街地が拡大・充実した時期の遺構・遺物が多数みつかっています。後者の時期には墓地を備えた寺院ができ、江戸時代初期～昭和初期まで続いたもので、602基の様々な墓がみつかりました。



⑯ 銀座町

国道24号線と立売通交差点南東角の調査で、北側と西側に面を削いた(北西角)石垣を見つけています。そこから出土する遺物の年代や石垣がみつかった位置などから、秀吉が最初に伏見に造営した指月城のものと考えられます。

